



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

https://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.779 2026.3.25

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

赤羽まちづくりの新たな検討会は、ほぼ非公開

なぜ区民の目から議論を隠すのか

公開

赤羽駅東口地区まちづくりガイドライン策定検討会

- <主な役割> まちづくりガイドライン及びまちづくり整備計画案のとりまとめ
- <構成メンバー> 全メンバー（学識経験者（まちづくり、基盤整備）、地元代表者、東京都、交通管理者、交通事業者、オブザーバー）

報告

- ・駅前広場整備計画・スキーム
- ・駐輪場配置・整備規模・手法
- ・歩行者・自動車NW計画等

非公開

赤羽駅東口地区まちづくりガイドライン基盤・土地利用部会

- <主な役割> 交通ネットワーク、土地利用方針の検討
- <構成メンバー> 学識経験者、東京都、交通管理者、交通事業者、オブザーバー

報告

- ・赤羽小学校改築方針
- ・重点区域内の施策メニュー
- ・重点区域内の実現化方策等

非公開

赤羽駅東口地区まちづくりガイドライン施設整備部会

- <主な役割> 重点区域内の施策メニュー、実現化方策の検討
- <構成メンバー> 学識経験者、地元代表者、東京都、オブザーバー

別途検討（非公開）

- 赤羽小学校の改築方針
- 赤羽会館等の整備方針

※地域開発特別委員会資料より。赤丸で囲った部分が傍聴を認めず「非公開」とされている部分

赤羽駅東口地区のまちづくりは、新年度から「ガイドライン策定検討会」が設置され、議論は新たな段階に入ります。

13日に開かれた地域開発特別委員会では、検討会の委員構成や推進体制が報告されましたが、策定検討会（親会議）の下に置かれる2つの部会（基盤・土地利用部会、施設整備部会）は、会議が「非公開」とされています。さらに、地域住民の関心が高い赤羽小学校の改築方針や赤羽会館・赤羽公園の整備方針などについては、検討会ではなく庁内で別途検討となり、これも「非公開」で行うとしています。

私は、「まちづくりは住民合意が大原則であり、議論を非公開とすることは適切ではない。前面公開すべきだ」と強く求めましたが、区は、「公開になると自由な議論ができなくなる」など述べ、会議を非公開で行う立場に固執しました。

今後、非公開とされている会議についても議事録を速やかに公開させ、区民の意見を反映させる場を保障することが重要な課題となります。

「第一地区」は完成が一年遅れにまた、すでに事業化されている「第一地区」については、昨今の建築工事費の高騰等を踏まえ、現在、事業計画の再調整と工事期間の精査を行っており、現時点で解体工事開始が2027年2月の予定から27年6月に、再開発ビルの完成予定が31年9月から32年9月へと延びることが報告されました。（のの山けん）

過去最高に積み上がった財政調整基金を活用し 暮らし・営業、もっと支援を

日本共産党北区議員団が、れいわ・新社会と共同で予算組み替え提案



宇都宮ゆり区議

25日、北区議会第1回定例会最終本会議で、日本共産党北区議員団は、れいわ新選組・新社会党とともに北区一般会計予算に対する組み替え動議を提出。区民の暮らしと中小事業者の営業を支援するための施策を提案しました。(のの山けん)

日本共産党区議員団を代表して討論に立った宇都宮ゆり区議は、北区の予算案に対し、①大幅な歳入増に比べて、物価高騰の影響を受けている区民の暮らしや、中小事業者の営業、賃上げ支援が不十分、②公民連携推進条例を制定して営利目的の民間企業に行政参入の門戸を開き、外部化による「行革」路線をさらに強化しようとする姿勢、③タワーマンション建設を呼び込む市街地再開発計画に固執し、民間大企業の利益に奉仕する駅周

れいわ新選組・新社会党・日本共産党北区議員団

予算組み替え提案 (要旨)

- 区民生活支援金の拡充【10.3億円】
- 中小事業者・ケア労働者への賃上げ奨励金【約23億円】
- 区営住宅・区営シルバーピア・セーフティネット住宅落選者への家賃補助【6000万円】
- 広島・長崎平和祈念式典への中学生派遣【300万円】
- 高校入学準備金創設・奨学金返済支援拡充【4500万円】
- 私立小・中学校への給食費補助【約1.7億円】
- 18歳までの国保料均等割減額【9600万円】
- シルバーパス購入費用補助【2000万円】
- 高齢者補聴器購入費助成の拡充【1億円】
- 紙おむつ支給事業の拡充【約1億円】

辺での「公民連携」まちづくりを推し進める姿、の3点をあげて反対を表明。保険料が値上げとなる国保・後期高齢者医療予算にも反対しました。

一方、過去最高となる249億円に積み上がった財政調整基金から、約

39億円を取り崩して暮らし・営業を支援する組み替え動議(囲み参照)については、「物価高騰に対応できる本気の実質賃金引き上げへ、国や東京都まかせとせず、北区自身も踏み出す姿勢を示すべき」と訴え、賛同を呼びかけました。

採決で組み替え動議は、公明、自民、維新などの反対で否決されました。

最終本会議

北区新年度予算と 組み替え動議めぐり 6会派・議員が討論

最終本会議では、れいわ、共産、新社会が北区予算案に反対、組み替え動議に賛成の討論を、公明、新時代、維新が予算案に賛成、組み替え動議に反対の討論を行いました。

組み替え動議に反対する会派は、提案されている施策の中身には触れず、「39億円も財調基金を取り崩すべきではない」、「歳出拡大には慎重であるべき」、「富士山噴火に備えて基金を確保しておく必要がある」などと反対理由を述べました。(のの山けん)